

さくらの花だより

豊中市教育委員会
学校教育課計画係
令和4年(2022年)8月
NO. 12

全国学力・学習状況調査から見える課題

4月に実施しました全国学力・学習状況調査(小6年・中3年対象)の結果が返ってきました。個人票については、各校子どもたちに返却されていることと思いますので、各自の課題については見ておいてほしいと思います。ただし、この調査結果は、あくまでも学力や学習状況の一部であり、児童・生徒の学力状況や教育活動すべてを表すものではありません。その上で、来春開校する庄内さくら学園校区(庄内小、島田小、野田小、庄内さくら学園中)の子どもたちの課題について、特に児童生徒質問紙の結果から見えてくる状況を報告したいと思います。

◆ 基本的な生活習慣にかかる項目

「早寝、早起き、朝ごはん」にかかる項目では、府・全国と比べてまだまだ少し課題が見られます。特に、「同じくらいの時刻に寝る、また同じくらいの時刻に起きる」の項目で、課題が見られます。また「一日当たりどれくらいスマホやゲームをしますか」では、4時間以上と回答する児童生徒の数が、府・全国と比べてかなり高くなっているのが気になるところです。

◆ 自己肯定感等にかかる項目

「自分にはよいところがあると思いますか」では、これまでの結果と比べて改善傾向が見られ、府全国と比べても少し高い数値も出てきています。一方、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」の項目では、3小1中すべての学校で府・全国と比べて低い傾向が見られました。「夢や目標を持っていますか」の項目でも、少し課題が見られました。自信をもって、将来にむけてチャレンジしていこうとする気持ちを高めていく取り組みが必要だと感じるところです。

◆ 学校生活の中での思い等にかかる項目

「学校に行くのは楽しい」では、府平均より高めの傾向を示しています。一方で、「困りごとや不安を相談できますか」では、「相談できない」と回答する層が少し府・全国と比べても少し高めであることについては気になるところです。「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「友だちと協力するのは楽しい」では、学校によって少し差異が見られるものの、全般的には高めの傾向を示しています。

◆ 家庭学習等の状況にかかる項目

「普段、一日どれくらい勉強しますか」等家庭学習にかかる時間は、府全国と比べてまだまだ少ない状況が見られます。特に、「全くしない」「30分未満」の数値が、総じて高くなっています。ただ一方で、「自分で計画を立てて勉強する」の項目では、これまでと比べて改善傾向が見られ、少し高くなってきているものの、一方で、「全くしない」層がまだまだ府平均より高くなっており、2極化の傾向がみられます。また読書の時間も、まだまだ少ない傾向がありました。

◆ ICT機器と授業づくりにかかる項目

「ICT機器をどの程度使っていますか」の項目では、学校ごとに少しばらつきが見られるものの、「ほぼ毎日」「週3回以上」の項目を合わせてみると、おおむね府を上回っています。「授業では、自分で考え、自分から取り組む」という項目は、3小1中とも府・全国より高くなっており、授業に対する姿勢は前向きになっているように思います。

*上記の結果から見えてくる課題をふまえて、来春開校する庄内さくら学園の取り組みに反映していきたいと考えていますので、ご家庭においてもご理解ご協力等、お願いしたいと思います。

庄内さくら学園のリーフレットが完成!

来春開校する「庄内さくら学園」のリーフレットが完成しました。庄内さくら学園の教育目標及び教育内容等の概要説明及び施設の概要や日課表等、新しくできる義務教育学校「庄内さくら学園」の大まかな内容を示すものとなっています。

26日には、保護者の方に配布したいと考えています。つきましては、8/30あるいは31日の「保護者説明会」に参加される方は、このリーフレットをご持参ください。よろしくお祈りします。

